2020.2.18

ＮＰＯフォーラム・だより No.91

ＮＰＯ法人安房文化遺産フォーラム （代表　愛沢 伸雄）
<引っ越しました>⇒ 〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1　TEL&FAX：0470-22-8271
Eメール awabunka.npo@gmail.com　公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中！ 年会費＝正会員 A:2,000 円（総会議決権あり）・準会員 B:1,000 円・法人 10,000 円
（ゆうちょ銀行口座：００２６０-１-９７３０７　名義 ＮＰＯ法人安房文化遺産フォーラム）

◆ 館山の海を愛した画家たち展

in 館山病院ギャラリー ⇒ 詳細は裏面
２月１日（土）～２月 29 日（土）入場無料

＊アーティゾン美術館 開館記念展　1/18~3/31

『見えてくる光景 コレクションの現在地』

東京駅前の旧ブリヂストン美術館が改名し、リニューアルオープン。「海の幸」はじめ青木繁作品７点も展示中。

日時指定予約 web チケット制・予約券 1,100 円・当日券 1,500 円

【房総アワビ移民研究所（鈴木政和所長）】～古文書整理・調査スタッフ募集！

明治期に渡米しモントレーで活躍したアワビ漁師のリーダー・小谷仲治郎の旧宅から見つかった古文書や書画。義弟は、児童自由画教育に尽力した画家・倉田白羊。台風の被災からレスキューした資料の整理や読み下しに力をお貸しください。４月には、研究者サンディ・ライドン博士とモントレー市民が来日、交流予定。

◆ ＮＰＯツアーガイド＆講演のスケジュール ← ガイド・サポートスタッフも大歓迎！

＊10 名以上のスタディツアーガイド（有料）を承っています。…座学・テキスト付=@1,500 円／赤山のみ=@500 円×人数
＊毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス（無料）を実施しています。

2 月 21 日（金） 9:20～10:10　全国自治体病院協議会（日東交通）12 名＝赤山
2 月 22 日（土）10:00～14:30　パルシステム親子教室 44 名＝赤山・座学・貝みがき・四面石塔
3 月　1 日（日） 9:30～12:00　赤山地下壕ガイドサービス
3 月　3 日（火）10:00～11:00　三鷹市医療と福祉をすすめる会 30 名＝赤山
3 月　6 日（金）13:00～17:00　広島福音自由教会学生会 7 名＝座学・赤山・かにた村
3 月　7 日（土） 9:00～17:00　〃　＝台風被災支援ボランティア　協力ボランティア募集！
3 月　7 日（土）10:30～15:30　白井平和委員会 20 名＝座学・赤山・布良崎神社・青木繁記念館
4 月　5 日（日） 9:30～12:00　赤山地下壕ガイドサービス
4 月　7 日（火） 9:00～12:00　米国モントレー市民＝座学・赤山・かにた村
4 月 18 日（土）11:00～16:00　憲法はじめの一歩 11 名＝座学・赤山・かにた村

<書籍紹介>

NPOフォーラム会員の**三平忠宏**さんが、**歌集「館山」**を発行されました。

・職退きし人らとともに館山の戦争遺跡のガイドを務む
・戦跡に多くの生徒が訪ひ来たり平和学習の教材として
・館山の位置と歴史を生徒らに語り導く赤山地下壕
・壕の壁の USA の落書きは占領軍の兵のものとぞ
・百年前漁盛りゐし布良に来て青木繁は「海の幸」生みぬ
・百年前中村彝は布良に来て「海辺の村」の大作描きぬ
・地の人が「布良星」と呼ぶカノープス冬の南の海にかがやく

<訃 報>

平和と美術を愛し、NPO 活動にご貢献された
お二人のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

♥**溝口七生**さん（鋸南町） ♥**岡崎昭一**さん（南房総市）

<かにた婦人の村・エマオ作業所バザー>

２月 28・29 日（金土）8:30～14:00

秋のバザーは台風被害で規模が半減してしまったため、今回は多くの方に来場してほしいとのこと。特に金曜スタッフ募集。参加の場合はNPO事務局まで。

館山の海を愛した画家たち展

～ 青木繁（あおき しげる）・寺崎武男（てらさき たけお）・中村彝（なかむら つね）・中原淳一（なかはら じゅんいち） ～

2020. 2. 1（土）～2. 29（土） 入場無料
館山病院ギャラリー（館山市長須賀 196）

主催：NPO法人安房文化遺産フォーラム
青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

＜複製画展示＞

＊青木繁『海の幸』石橋財団アーティゾン美術館蔵

＊**青木繁**（1882-1911） 東京美術学校を卒業した明治 37（1904）年、布良の小谷家に長逗留して描いた「海の幸」は重要文化財になった。

同寸大の複製画は、
青木繁「海の幸」記念館で展示公開中！

【開館日】毎週土日 10:00～15:00
【所在地】館山市布良 1256
【入館料】 一般 200 円／小中高 100 円

◎ 3/8 まで ひな人形・吊るし雛を展示中

原画（重要文化財）は、東京駅前の
アーティゾン美術館で展示公開中！

（旧ブリヂストン美術館） ～3/31
東京駅八重洲中央口から徒歩5分

＜原画展示＞

＊寺崎武男『祖神を偲ぶ天富命の図』 当会蔵

同じ構図の奉納フレスコ壁画は、**安房神社**に展示

＊**寺崎武男**（1883-1967） イタリアに留学し、フレスコ壁画・エッチングなどの技法を日本画壇に紹介。館山に移住して房総神話シリーズを描き、安房神社や布良崎神社に奉納。

＜複製画展示＞

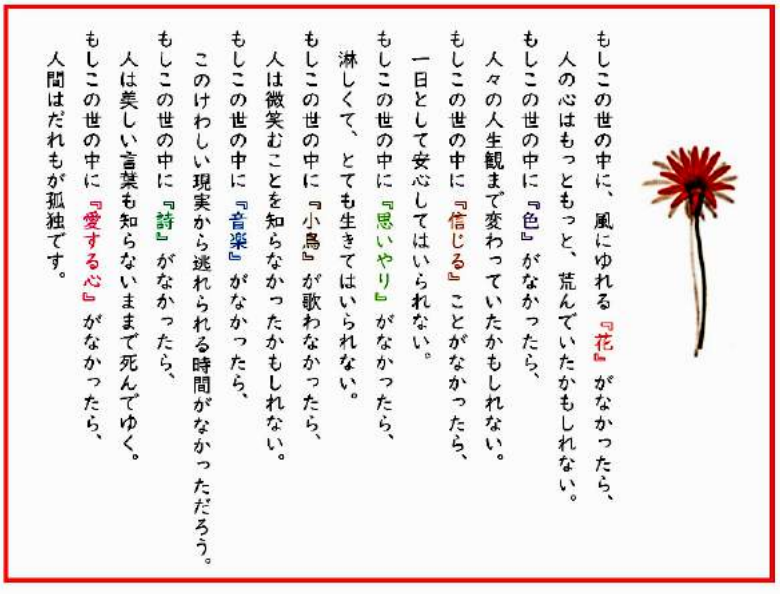
＊中村彝『海辺の村（白壁の家）』

東京国立博物館蔵

同寸大の複製画は、**館山中村屋本店**に展示

＊**中村彝**（1887-1924） 北条湊で結核の療養し画家を志し、1910 年に布良を描いた作品。後に新宿中村屋の相馬愛蔵・黒光夫妻に支援され中村屋サロンで活躍する。

＊中原 淳一 詩碑



もしこの世の中に、風にゆれる『花』がなかったら、
人の心はもっともっと、荒んでいたかもしれない。
もしこの世の中に『色』がなかったら、
人々の人生観まで変わっていたかもしれない。
もしこの世の中に『信じる』ことがなかったら、
一日として安心してはいられない。
もしこの世の中に『思いやり』がなかったら、
淋しくて、とても生きてはいられない。
もしこの世の中に『小鳥』が歌わなかったら、
人は微笑むことを知らなかったかもしれない。
もしこの世の中に『音楽』がなかったら、
このけわしい現実から逃れられる時間がなかっただろう。
もしこの世の中に『詩』がなかったら、
人は美しい言葉も知らないままで死んでゆく。
もしこの世の中に『愛する心』がなかったら、
人間はだれもが孤独です。

詩碑は、**館山市塩見海岸**に建立

「それいゆ」37 号表紙

© JUNICHI NAKAHARA / HIMAWARIYA

＊**中原淳一**（1913-1983） イラストレーター・ファッションデザイナー・詩人として一世を風靡。病に倒れ、晩年 20 年を館山病院と塩見海岸の別荘で療養した。没後、友人で詩人の諫川正臣が詩碑を建立。